

受検番号	
------	--

氏名	
----	--

※

--

----- 切り取らないこと -----

※

--

令和7年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校 保健体育 解答例

1	(1)	ア	遺伝子	イ	無秩序	ウ	血液、皮膚 など	エ	生活習慣	オ	ウイルス		
	16	(2)	①	手術			②	化学				各2点	
③			放射線										
2	(1)	ストリームライン				(2)	24 (秒)				各2点		
	8	(3)	ライズボール				(4)	ジャックル					
3	(1)	スピードをつけて走りながら、数少ないタッチでボールとともに移動する。 (スピードをもってオープンスペースへ侵入する際に用いる。)										各4点	
	14	(2)	体が酸素を十分に利用できなくなる運動強度には個人差があり、そのポイントを迎えると筋肉や血液には急に乳酸がたまって疲労を感じるようになる。長距離走の前半をオーバーペースで走るとそのポイントを早い段階で超えてしまい、乳酸が蓄積するために、その後一気にペースダウンしてしまうから。										
	(3)	脚をからめる			うつぶせになる			(ブリッジして) ひっくり返す			各2点		
4	(1)	①	l (体育理論)			②	f (器械運動)			③	i (陸上競技)		各1点
		④	e (水泳)			⑤	j (ダンス)			⑥	k (一つ)		
		⑦	b (球技)			⑧	h (武道)			⑨	c (二つ)		
9													

裏面に続く

5	ア	筋道		イ	修正		各2点
8	ウ	保持増進		エ	コミュニケーション能力		
6	(1)	① 合意形成	② 知る	③ スポーツライフ	各2点		
		④ 運動計画	⑤ 障害の有無	⑥ 共生社会			
		⑦ 危険					
17	(2)	生徒自身が協力，責任，参画，共生の意義や価値を認識し取り組もうとする意欲を高めることが求められることから，意義や価値の理解とその具体的な取り組み方を結びつけて指導することが大切である。					3点
7	(1)	① キ（食事）	② シ（ストレス）	③ サ（不安）	各1点		
		④ イ（持続的）	⑤ カ（社会環境）	⑥ ウ（差別）			
12	(2)	ア	(3)	心的外傷後ストレス症（PTSD）		各3点	
8	(1)	スポーツ基本法の規定に基づき、文部科学大臣が定めるスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針					各4点
	(2)	4年に一度，世界的規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ大会。（参加資格は裸耳状態で、聴力損失が55デシベルを超えている聴覚障害者で、各国のろう者スポーツ協会に登録している者とされている）					
	(3)	しゃくり上げるような途切れ途切れの呼吸，しゃくり上げるような不規則の呼吸，心臓が停止して間もない人に見られる。					
16	(4)	健康情報を入手し、理解、評価して、活用することにより、生涯を通じて生活の質を維持・向上できる力					